

## 2021年2月臨時運営委員会資料(3)

2021年2月28日

運営委員会担当 石井・小坂

### 運営委員会に関する検討

会員アンケートに書かれた意見

- ・運営委員の負担が大きいため委員の数を12名(各地域3名)程度に増やして欲しい。
- ・地域からの役員は1名以上で良いと思われる。
- ・運営委員会の傍聴を可能にしてはいかがでしょうか?特にコロナ禍の現在、運営委員会はZoomによるオンライン会議のようですので参加しやすい環境にあります。運営委員会ではどのような議論を経て議案が決議されるのか、また、運営委員になるのは躊躇するが場合によっては意見を述べてみたいという会員がいるかも知れません。傍聴することにより委員の皆様への感謝の気持ちも生まれるでしょうし、運営委員会の実態を理解した上で、運営委員になりたい(あるいは絶対になりたくない)という会員も出てくると思います。両刃の剣ですが会員の広報活動として有効と思います。

改革案

- ・コロナ禍が収束した後もオンライン開催とする。  
(理由)
  - ・オンラインでも十分な協議が可能
  - ・委員にとって時間的にも肉体的にも経済的にも負担が少ない
  - ・会全体の経費的にも有利(オンラインの場合Zoomの年間利用料22000円のみ、オルタ館開催の場合、会議室使用料8100円(6回分)、委員への交通費補助70000円(10名として)計78100円)
- ・会員のオブザーバーとしての参加を認める。希望者は事前に運営委員会担当委員に申込する。  
(理由)
  - ・アンケートの意見にある通り、運営委員会の実態を会員に知ってもらうこと
  - ・運営委員の候補者を集めやすくする。
- ・運営委員の人数は会則にある通り、各地域じゃおから2名以上とする。
- ・運営委員の業務は現状通りとする。ただし、じゃおサロンを継続するか否か別途議論が必要。